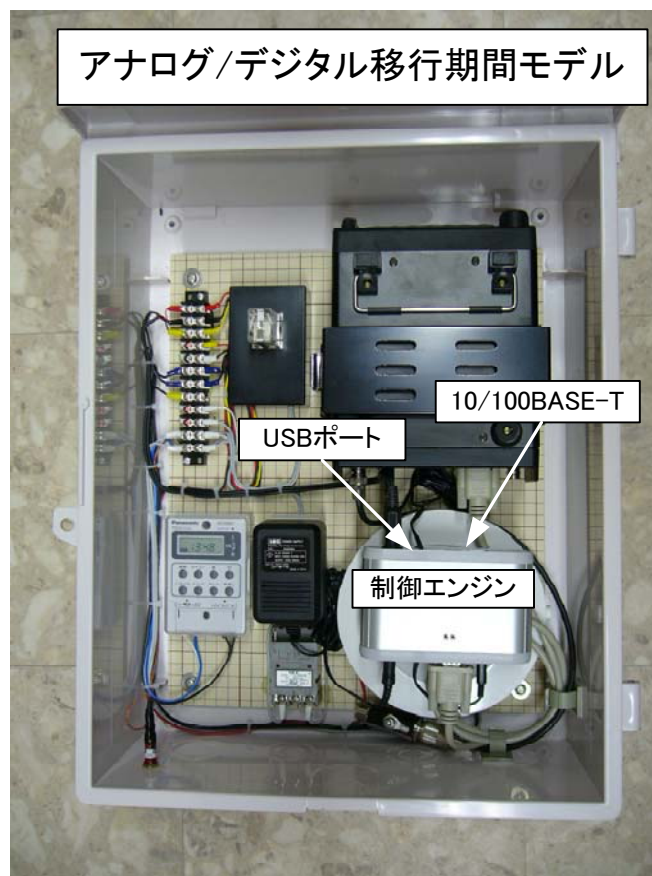


猿人善快 アナログ発信器 → デジタル発信器 対応

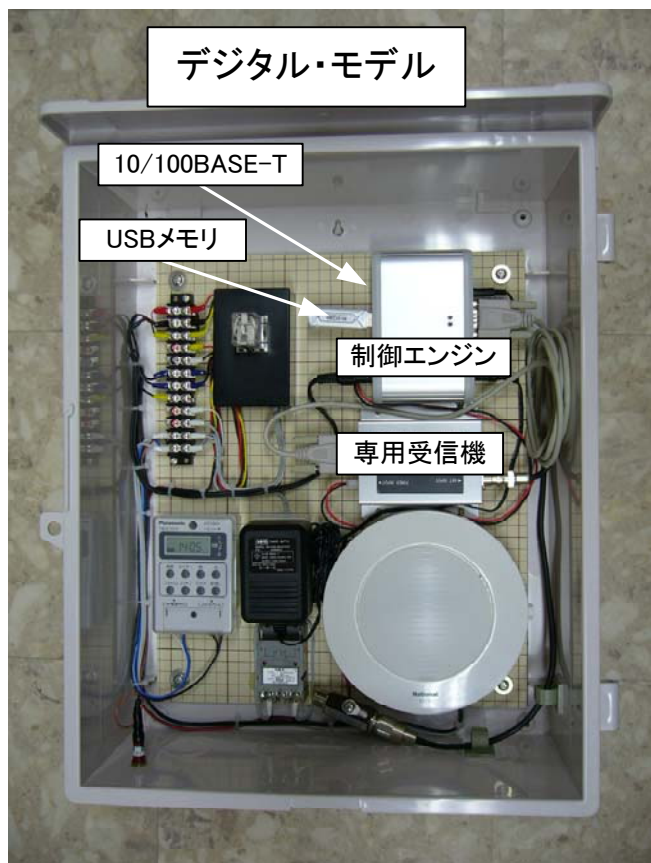
輸入モデル(違法品)

国産モデル(適法品)

写真で見る、テレメトリ発信器(電波法)対応/商用電源モデル本体



アナログ・モデルに、専用制御エンジン(IDデコーダ内蔵)を搭載したもののこのエンジンを追加することで、アナログ・モデルからバージョンアップできます。ただ、このエンジンのニーズは限定的なものという判断でおります(デジタル型に移行する間の限定的なニーズ)しばらくの間は、ご提供できるように準備をしておきます



まだ、過去の輸入発信器の稼働がある(電池寿命がまだ残っている)期間は、「アナログ・モデル」のままでも対応が出来ます。

新たに発信器を採用する場合は、適法すなわちデジタル方式のものになりますので、デジタルへの対応が必要になります。

この場合、自分の管理しているデジタル発信器5波までの範囲に限定した使い方であれば、従来型「アナログ・モデル」でも対応可能です。

「アナログ/デジタル移行期間モデル」は、その両方への対応を可能とするもので、「アナログ・モデル」では不可能であった誤作動(ノイズ)対策・受信データの記録・状況を外部に知らせるmail通知/ftp転送(インフラは別途用意が必要)が可能になります。(外部通知機能で告知システムなどとの連携も可能に)

「デジタル・モデル」は、専用受信機を採用することで、「アナログ/デジタル移行期間モデル」に比べ、装置のコストダウンが可能になります。(こちらは、電波法規定の5波以外の受信は出来ません)